

# 山下公園前の海で魚の産卵を確認

## 『環境改善により戻ってきた生き物、育まれる命』

横浜市では平成25年からJFEスチール株式会社と協力して山下公園前海域での生物生息環境の改善に取り組んでいます。鉄鋼スラグ製品を使用した生き物の棲みかとなる生物付着基盤を設置することで、設置以前と比較して、魚や貝、海藻などの生き物が戻ってきています。平成30年度冬季に実施したモニタリング調査では、実験開始以来、初めて魚(アイナメ)の卵塊を確認しました。本海域において生き物が定着し、産卵・生育の場として活用されていることがわかりました。

### 実験開始以来、初めて確認されたアイナメの卵塊

アイナメは岩場や小石混じりの砂場などに生息する魚です。産卵は冬季で、岩場や海藻等に産み付けることが知られています。雄は孵化するまで卵を守る習性があります。



アイナメの成魚

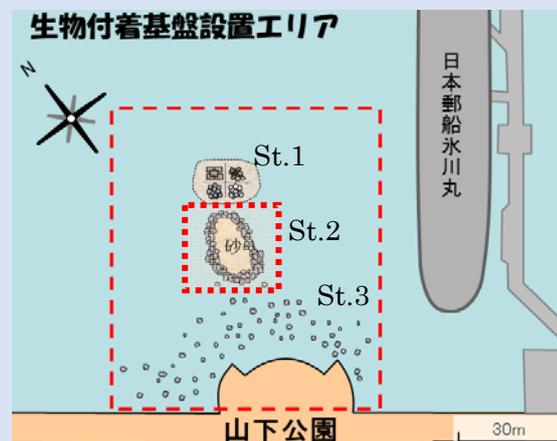


アイナメの卵塊

卵の色については  
様々なものが存在します

### ヘドロの海底だったところに生き物が戻ってきた

海底がヘドロで覆われ、生き物があまり見られなかった山下公園前の海域に、生き物の棲みかとなる「生物付着基盤」を設置することで生き物が山下公園前に戻ってきました。今回、アイナメの卵塊はSt.2(砂場エリア)に設置した生物付着基盤で確認されました。



ヘドロで覆われた海底



生物付着基盤につく生き物たち



生物付着基盤



### お問合せ先

環境創造局	環境科学研究所長	百瀬英雄	Tel 045-453-2550
環境創造局	政策課下水道政策調整担当課長	小塚亮一	Tel 045-671-3586